

# こまきゴールド生産推進協議会の概要

執筆 尾張農林水産事務所農業改良普及課

氏名・産地名 こまきゴールド生産推進協議会

経営類型・作目 果樹・モモ

市町村 小牧市



こまきゴールド生産推進協議会  
会長 山田氏

## 1. 経営・産地概要

- |                   |                                       |
|-------------------|---------------------------------------|
| (1) 会員数           | 28名                                   |
| (2) 「こまきゴールド」作付面積 | 約60a(苗木数約200本)<br>10aあたり30本作付け換算      |
| (3) 販売方法          | ファーマーズマーケットぐうぴいひろば<br>グリーンセンター1店舗にて直売 |

## 2. 取組

### (1) こまきゴールド生産協議会の設立

小牧市は、北東部の篠岡地区を中心に古くからのモモ産地であり、6月下旬から8月上旬にかけて美味しいモモを求める人で賑わいます。しかし、名古屋市ベッドタウンとして都市化が進んでいること、モモ農家の高齢化、後継者不足で、栽培面積の縮小傾向が続いていました。

モモ新品種「こまきゴールド」は小牧市内の生産者が「みさか白鳳」の枝変わりから発見・育成して2022年に品種登録されました。6月中下旬に収穫できる早生の黄肉系品種で、同時期に収穫できる「日川白鳳」より大玉であり、糖度が高い特徴があります。小牧市のモモを盛り上げる起爆剤として期待もあり、2021年にJA尾張中央を事務局とする「こまきゴールド生産推進協議会」(以下、「協議会」とする。)が設立されました。

協議会では「こまきゴールド」栽培方法のマニュアル作成、専用パッケージ制作などブランドとして販売するために様々な取組を行っています。

また、2025年からは選果機を導入し、高糖度の「こまきゴールド極」の販売を予定しています。



こまきゴールド

## (2) 栽培特性の解明

「こまきゴールド」の販売力を高めるためには協議会員が高品質で美味しいモモを栽培しなければいけません。そのため、特性をしっかりと把握することが大切です。協議会では、2021年度から栽培に関する調査を開始し、マニュアルを作成しています。



土壌調査

## (3) P R活動

「こまきゴールド」を多くの消費者に知っていただくために、様々なP R活動を行っています。JA尾張中央のホームページには「こまきゴールド」の特設サイトがあり、品種の特徴や品種登録までの歴史、さらに販売状況も随時更新しています。2023年には、小牧市役所を表敬訪問し、宣伝活動を行いました。



表敬訪問

## (4) 販売開始

2024年6月19日に念願の「こまきゴールド」初出荷が行われました。当日のグリーンセンター桃花台では販売1時間前には100人以上が並び、わずか5分で整理券が配布終了となる大盛況でした。2025年度からは、ファーマーズマーケットとグリーンセンターの合わせて4店舗で販売を予定しています。

今後も小牧市のモモが盛り上がるよう、ブランド化を進めていきます。



初荷の販売